

## 卓球クリニックIV in 淡路

～目指せ！TOKYO●2020～

- 趣 旨：卓球を通じて、子ども達の心身の健康増進を図る。また、団体間の交流を深める。
- 日 時：平成30年1月3日（水）10:00～17:00
- 場 所：南あわじ市文化体育館（兵庫県南あわじ市北阿万筒井1509-1）
- 対 象：選手（小学生、中学生、高校生）及び指導者（定員250名程度）
- 参加者：210名（選手178名、指導者32名）
- 講 師：川畑 圭輔 氏（フェニックス卓球クラブ マネージャー）  
平塚 陽一郎 氏（フェニックス卓球クラブ 専属コーチ）  
寺田 憲治 氏（T's ZERO+ 代表）
- 指導補助：神戸松蔭女子学院大学 卓球部員14名



### 8 プログラムの内容

#### 1月3日午前 クリニックI

クリニックIでは、基本的な動作や肩の動かし方などについて、丁寧な説明を受けながら実際に参加者同士で打ち合った。

日本卓球協会のホープスナショナルチーム強化スタッフとして活躍する川畑講師による指導は、「説明が分かりやすかった」と参加者から好評だった。



#### 1月3日午後 クリニックII

クリニックIIでは、上半身の回転や下半身の構えなど、体の使い方について重点的に学び、基本動作を崩さずに打つ練習や数種類のサーブ練習を行い、細かいラケットさばきのレクチャーを受けた。また、戦型ごとに別れることで、より専門的な内容を学ぶことができていた。



### 9 参加者の声

- カットマンの基本の打ち方とか改めて勉強できたのでとても良かった。
- 次の試合につかえるサーブやドライブができた。
- このようなクリニックはとてもありがたい。やる気のある強くなりたい若者が参加しやすく、とてもよいと思う。



## 10 所感

参加者は懸命にノートに内容を書き込み、昼休みや休憩時も、少しの時間でも惜しむかのように全ての卓球台で自然とラリーが始まるなど、参加者の様子から積極的に学び取ろうとする雰囲気が伝わってきた。

また、神戸松蔭女子学院大学の学生が指導補助に入ることで、参加者全員に指導内容を行き届かせることができた。アドバイスを一人一人に送ることができ、参加者が得るものは多かったと思われる。

